



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2011年度社員総会

1. 2010年度事業報告	1
2. 2010年度決算報告	7
3. 2011年度事業計画(案)	12
4. 2011年度予算(案)	18
5. 理事改選	20
6. その他	21

日時：2011年6月12日(日) 15時～

場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2010 年度事業報告：採決事項①

月	会議等	事業・プログラム関連
4	駒場体育館指定管理スタート 04 テニス部門運営会議	28 ニュース vol. 111 発行
5	15 第1回理事会 29 第2回理事会	28 ニュース vol. 112 発行
6	06 2010 年度総会	28 ニュース vol. 113 発行
7	18 キッズテニス大会実行委員会	16 20周年記念事業サッカー交流会（埼玉）（1） 28 ニュース vol. 114 発行
8	01 第3回理事会 駒場 J V 会議 29 テニス部門運営会議	14 第17回浦スポ塾 子どもの指導方法／清水理事 19～20 工作教室 28 ニュース vol. 115 発行
9	05 第4回理事会 26 キッズテニス大会実行委員会	11 第18回浦スポ塾 リスクマネジメント／古里健治弁護士 貯筋ステーション事業開始 26 20周年記念事業 テニス交流会 28 ニュース vol. 116 発行
10	05 駒場 J V 会議 09 キッズテニス大会実行委員会 17 正副理事長会議	03 20周年記念シンポジウム「スポーツの未来図」 10 U15 フットサル大会参加（春日部市） 16 第4回キッズテニス大会 28 ニュース vol. 117 発行 U15 県ユース(U13) 大会にノルテと合同チーム参加
11	07 第5回理事会 28 正副理事長会議	サッカー選手コース昇格戦惜敗 20 第19回浦スポ塾 海外のスポーツ文化に学ぶ／鈴木守上智大学教授 28 ニュース vol. 118 発行
12	11 埼玉体育学会参加 12 駒場 J V 会議 26 正副理事長会議	28 ニュース vol. 119 発行
1	15 県地域 SC 会議参加 16 第6回理事会 22 正副理事長会議 23 駒場 J V 会議 30 スポーツ広場勉強会	高齢者の筋トレ、動作法等 高齢者プログラム開始 28 ニュース vol. 120 発行
2	13 テニス部門運営会議 20 駒場 J V 会議 26～27 全国 SC 会議参加	05 スポーツゲームズ in さいたま 06 20周年記念事業 サッカー交流会（埼玉）（2） 11 第20回浦スポ塾（浦和コミセン） 総合型地域 SC について／宮内知孝 早稲田大学教授 20 U18 彩の国カップ 28 ニュース vol. 121 発行
3	06 第7回理事会 ー11 東日本大震災ー 21 スポーツ広場プロジェクト会議	・生涯、選手 2011 年度さいたま市民リーグ ・Gシニア 2011 年度北部リーグ 28 ニュース vol. 122 発行
4	10 スポーツ広場プロジェクト会議 23 正副理事長会議 24 駒場 J V 会議	・U18 日本クラブユース選手権関東予選大会参加 28 ニュース vol. 123 発行
5	01 スポーツ広場プロジェクト会議 08 第1回理事会 14 正副理事長会議 22 テニス部門運営会議 29 駒場 J V 会議	・U18 埼玉県リーグ参加（SS2B） 28 ニュース vol. 123 発行

(総論)

10年度は、次のような特徴的なできごとがありました。

- 東日本大震災
- 20周年記念事業の開催
- 駒場体育館指定管理者事業が開始（埼玉シミズとJV）
- 貯筋ステーションの実施と高齢者向けプログラムの本格的な開始
- 「スポーツ広場プロジェクト」開始
- 星空スポーツ広場の危機

□東日本大震災

3月11日に発生した東日本大震災は、クラブの活動にも大きな影響を与えました。クラブ事務所にも若干の被害ありましたが、これに伴う電力制限などにより活動の中断をせざるを得ないプログラムができました。

クラブでは、被災地への支援物資の収集や、支援金集めなどを始めました。広く全国で「コミュニティ」の大切さが再認識される中、クラブというつながりを考え直す機会として前向きにとらえていければ良いと思います。

□20周年記念事業の開催

テニスやサッカー部門でそれぞれ交流会を企画し、他種目の会員の参加や、保護者の方との交流など、クラブの良さを感じられた機会となりました。記念シンポジウムでは、市長や他クラブの方にも参加いただき交流の機会をもてたことも良かったことと思います。またシンポジウムを会員が力をあわせて実施できたことも良かったことと思いますが、記念誌の編集の遅れや、これらの行事への参加が一部の会員にとどまったことは、今後の課題としていかなければなりません。

□駒場体育館指定管理者が開始

自主事業の企画、実施がじょじょに増えてきており、スポーツや健康づくりの普及拡大に貢献できているものと評価できます。これにより新たな会員の確保にもつながることが期待できます。今後、地域懇談会などの開催などをとおして、さらに地域との結びつきを強める機会としていきたいと思います。

一方で、職員の体育館勤務の調整があまりうまくいかないなど、今後、改善すべき課題もありました。

□貯筋ステーションの実施と高齢者向けプログラムの本格的な開始

自治会などにも声をかけて国の推奨する事業を展開できたことは、大きな成果でした。また、自主事業としても高齢者の筋カトレーニングなどが始まりました。

これらの活動をとおして、地域包括支援センター・スマイルハウスとの連携も始まり、今後のシニア分野・介護予防分野への展開のきっかけができました。

□（多目的）スポーツ広場プロジェクトの始動

クラブの長年の夢である占用施設（グラウンド等）の実現にむけて、テニス・サッカー・フィットネス各部門の会員が協力してプロジェクト会議を立ち上げたことは、大きな一歩です。

□星空スポーツ広場の危機

2005年から3年間かけて、県と高校と協議して2008年にスタートした星空スポーツ広場は、2010年4月に県のモデル事業の終了により、他団体への貸し出しがはいってしまい広場の存続が危ぶまれる事態となりました。県、浦和高校との話し合いの末、2011年より元の状態に戻ることとなりました。

しかしながら、制度面では不安を残しており、行政の担当が替わることで、星空スポーツ広場の意義や位置づけが正しく引き継がれていかないことが、今後も懸念され、注意が必要です。

年度の収支が大幅に赤字となり、今後は、toto助成金の期間終了を見据えて、早急に対策を講じていく必要ができています。

一方で、新たに高齢者向けのプログラムがはじまるなど、地域のニーズにあった、地域に密着した事業の展開が進みはじまりました。市、県の各種協議会、委員会への参加も増えており、地域での役割の重要性がますます高まってきたものと思います。20周年のシンポジウムでも、そのことを確認できたものと思います。これにあわせて、新しい公共としての役割を担うべくスポーツひろばプロジェクトも立ち上がり、幅広い分野での連携の可能性が見えてきました。

(年度当初事業計画と成果)

10年度当初事業計画	成果
<p>1. 20周年記念事業</p> <p>(1) 記念イベント等の開催</p> <p>①記念イベント(講演会と祝賀会)</p> <p>②記念誌の作成</p> <p>③交流会の開催</p> <p>④その他</p>	<p>○市長も参加して実施</p> <p>△未完</p> <p>○テニス、サッカーともに開催</p> <p>○スポーツゲームズを実施した</p>
<p>(2) クラブネクスト10の策定</p> <p>①ビジョン</p> <p>②会員、会費制度について</p> <p>③施設確保について</p> <p>④指導者の育成、確保について</p>	<p>●整理できなかった</p> <p>△検討し、2011総会にて協議</p> <p>△プロジェクトチーム立ち上げ</p> <p>●特に進展なし</p>
<p>2. 既存活動の充実、発展を図る</p> <p>(1) 運営体制を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員も参加できる運営会議の開催 ・専門部会(指導者部会)の開催 ・専門部会(地域部会)の開催 	<p>△頻繁に開催したが、課題解決に至っていない</p> <p>●未実施</p> <p>●未実施</p>
<p>(2) サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場の会員増加と充実 ・スクールの増設(火曜日 北小) ・U15の会員増加 ・U18の会員増加とリーグ戦への参加 ・選手コースの2部昇格 ・生涯コースの会員増加(50名目標) ・スーパーシニアは元気に活動を継続します 	<p>△大きな変化なし</p> <p>○火曜日北小クラスを新設</p> <p>●会員増加できず</p> <p>○リーグ戦に参加</p> <p>●昇格できず</p> <p>△微増にとどまった</p> <p>○高い出席率を保った</p>
<p>(2) テニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズテニスの会員増加をはかります ・キッズテニスのクラスを新設します ・屋外コート安定確保とジュニアの活動の場づくり ・市民大会への参加 	<p>△会員の増加がはかれず</p> <p>○三室小クラスを新設</p> <p>△初級者テニスはある程度会場確保できた</p> <p>○複数名が参加した！！</p>
<p>(3) フィットネス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の増加、確保を図る ・シニア向けのプログラムの導入を進める ・のびのびスポーツ広場の会員増加を図るとともに、高学年まで続ける会員を増やす 	<p>△ある程度の会員は確保できたが、まだ小人数のクラスも少ない</p> <p>○新たなシニアプログラムが始まった、貯筋ステーションも実施</p> <p>△大きな変化なし</p>
<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア向け、子ども向けの充実 ・卓球クラスの新設 ・浦和スポーツ塾の定例化 ・専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを加えていく 	<p>△地域包括支援センターと連携</p> <p>●卓球クラスの新設はできず</p> <p>△4回開催。PRがあまりうまくできていない</p> <p>●まだできていない</p>
<p>3. 地域のスポーツ振興に取り組む</p> <p>(1) キッズテニス大会 in SAITAMAの開催</p>	<p>○第4回キッズテニス大会を開催した</p>
<p>(2) 地域との連携強化をはかり、高齢者や子供向けのプログラムの充実をはかる</p> <p>①駒場体育館との連携による展開</p> <p>②星空スポーツ広場で各種プログラムを展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空の会費制を検討し実施する 	<p>○貯筋体操等を展開</p> <p>△星空の継続危機があったが解決。参加者は安定傾向。</p>

【20周年事業】

最大のイベントであるシンポジウムと祝賀会を、会員の力で開催し、清水さいたま市長や二宮清純氏、清雲栄純氏など多くの方にご参加いただき、地域スポーツクラブの役割や意義について理解を深めることができたことは大きな成果であったと言えます。

サッカーの交流会には多くの保護者の参加、テニス交流会には保護者の他、サッカーの会員も参加するなど地域スポーツクラブならではのイベントとなりました。

また、NPO法人MIPスポーツプロジェクトと駒場体育館との共同で、スポーツゲームズを開催し、多方面にクラブのPRができたことも効果があったものと思います。

一方で、記念誌の作成やシンポジウムの記録作成が進まず、こういった記録づくりなどの裏方作業のマンパワーの不足は課題として残されました。

【サッカー】

(サッカー／普及：広場)

- ✓ 10年度も大塚製菓さんの協力により、水分補給講習会を実施した
- ✓ 高学年の人数増加と木曜日の人数増加が課題として残っている
- ✓ 20周年交流会に多くの保護者が参加してくれた

(サッカー／育成)

- ✓ スクール(小5・小6)の人数が増え、安定して開催できた
- ✓ U15は単独で大会参加できない状況となった
- ✓ U18は会員数が増加し、リーグ戦参加が果たせた
- ✓ 選手コースは練習参加人数が少なく、単独で練習が行えていない。2部昇格ができなかった

(サッカー／振興(生涯スポーツ))

- ✓ 生涯コースは、じょじょにはあるが新加入があった。
- ✓ スーパーシニアは出席率が高く、熱心な活動が展開されている

【テニス】

(テニス／キッズ)

- ✓ キッズテニス大会の第4回を開催した
- ✓ 三室小学校の学校開放を確保できた。

(テニス／一般)

- ✓ コートの確保がある程度、安定してきた

【フィットネス】

(スタジオプログラム)

- ✓ 会員減少に歯止めはかかったが、まだ安定的な経営ができる人数には達していない。
- ✓ 人数の少ないプログラムの運営に課題が残る

(のびのびスポーツ広場)

- ✓ 高学年クラスにつながる子がでてきた
- ✓ 鉄棒などのニーズが高いが、こたえられていない

(太極拳)

- ✓ 2クラスに増加したが、人数は増えていない
- ✓ 夏～秋の早朝に、駒場体育館駐車場で自由参加の場を開催した

(バレエ)

- ✓ 卒業していく子どもがおり、人数がやや減少した
- ✓ 新しい会員の確保が、あまり進んでいない

【その他】

(魅力アップ事業)

- ✓ 夏休み工作教室などを実施し、子どもに好評であった

(浦和スポーツ塾)

- ✓ 第17回～第20回を開催した
- ✓ 地域スポーツクラブに関する理解を深めることができた
- ✓ 出席者を増やす工夫が必要である

(地域交流・拠点確保)

- ✓ 星空スポーツ広場の体育館が片面使用となった。他団体の受け入れについて、県と協議を重ねた。
- ✓ 卓球やバドミントンでは、中学校の部活の子どもたちが指導を受けにきている
- ✓ サッカーには、親子の参加がとても増えて、父親達の良い交流の場となっている

(県との協働)

- ✓ ふあいびるクラブ運営協議会（埼玉県地域スポーツクラブ運営協議会に改称）に参加した

(市との協働)

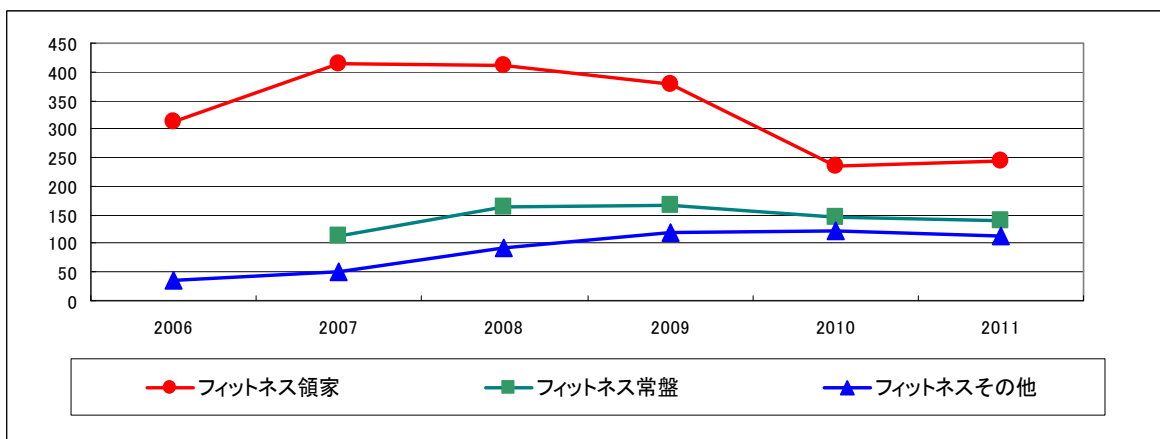
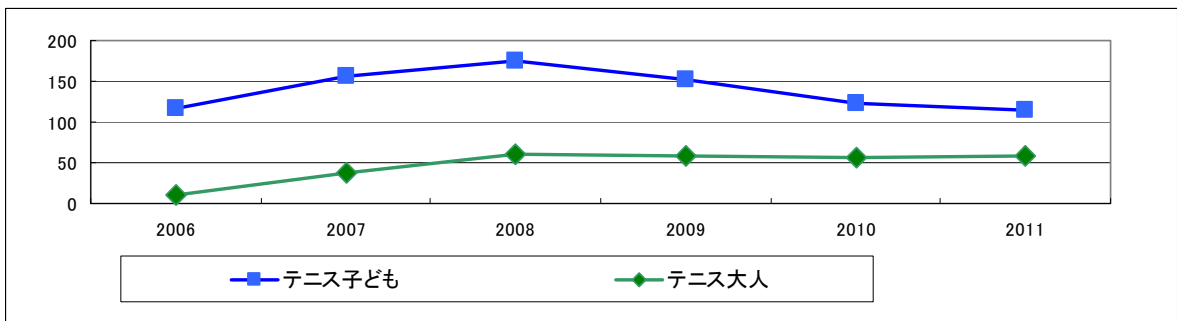
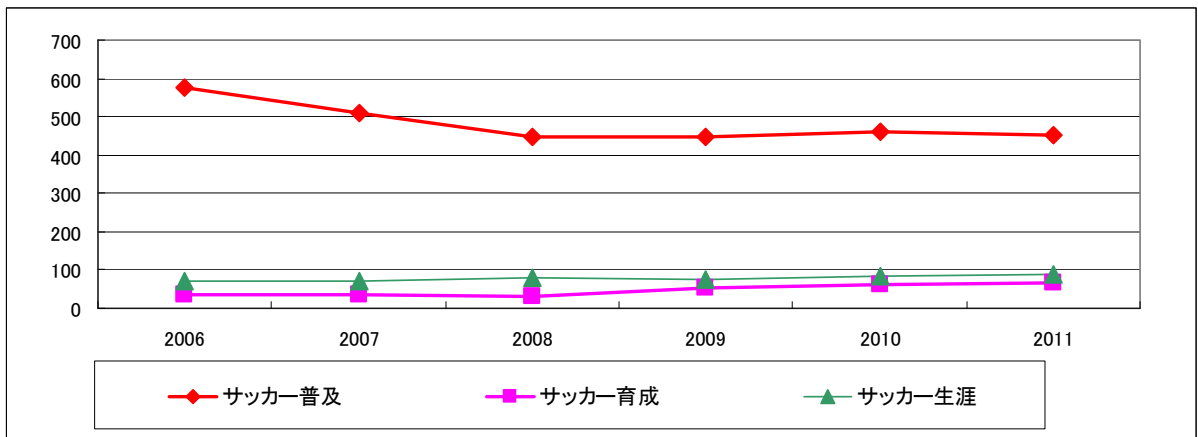
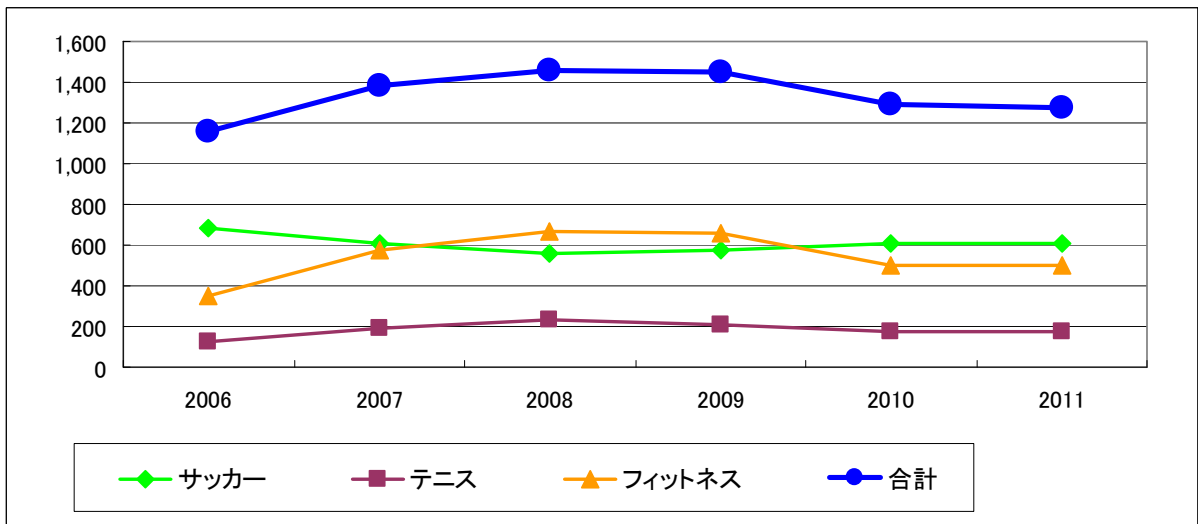
- ✓ さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会に委員として参加した
- ✓ スポーツもできる多目的広場管理運営に関する研究会に委員派遣

(その他)

- ✓ スポーツサンクチュアリ川口が受託している文科省事業「地域スポーツ指導者育成事業」に、戸苅理事長、塩野副理事長が講師として参加し、県内のスポーツ指導者に指導を行った。
- ✓ 被災地向けの支援物資や義援金を集めた。
- ✓ 福島県双葉町から避難されてきた皆さんの支援、お手伝いを行った。（スーパーアリーナでのボランティア活動に会員数名が参加。旧騎西高校でのスポーツプログラムの導入に他クラブと協力してあたる）

参考/2006年～2011年のクラブ会員数（各年5月末）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011
サッカー普及	575	508	449	448	461	454
サッカー育成	37	35	29	54	64	67
サッカー生涯	70	69	78	77	84	88
テニス子ども	116	157	175	153	123	115
テニス大人	11	38	61	58	56	58
フィットネス領家	314	413	410	377	234	244
フィットネス常盤		112	165	167	147	140
フィットネスその他	35	51	91	118	121	113
サッカー	682	612	556	579	609	609
テニス	127	195	236	211	179	173
フィットネス	349	576	666	662	502	497
合計	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290	1,279

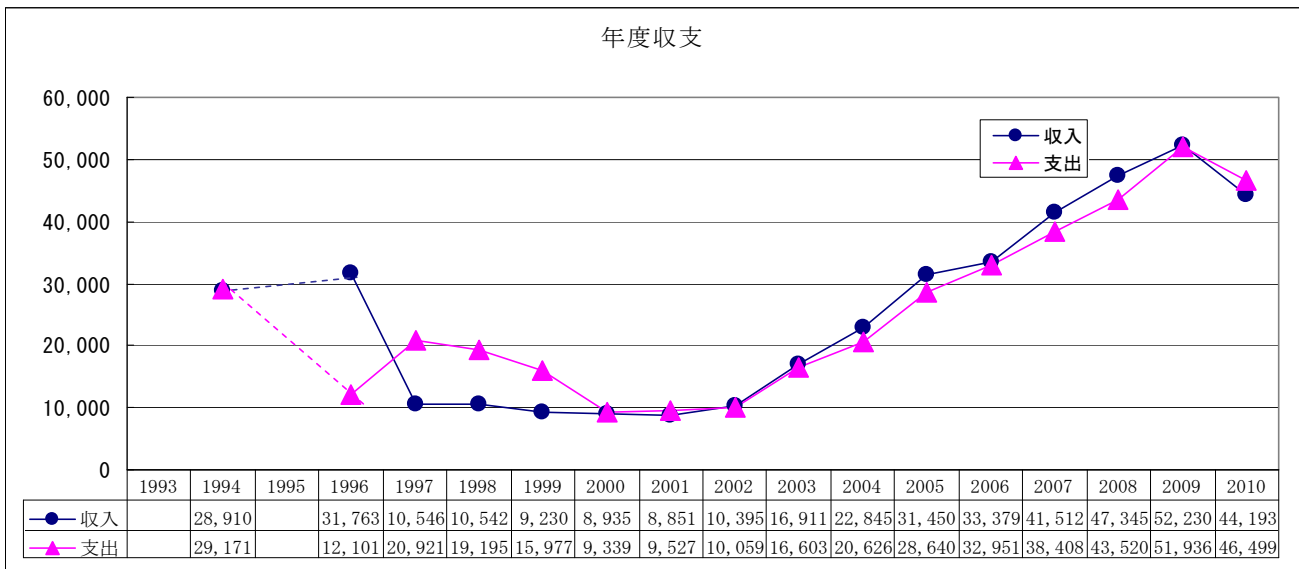


2. 2010 年度決算報告（2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日）：採決事項②

- 収入総額は約 4,419 万円となり、昨年よりも 800 万ほど減少しました。
- 大幅減の原因は、昨年度は文部科学省の委託事業（約 720 万）があったことによるものです。会費収入は、2009 年度 3,660 万に対し、2010 年度は 3,690 万とほぼ同程度でした。
- 経常支出は約 4,650 万円で、予算よりも 130 万ほど多くなりました。主な支出増の原因は、20 周年事業の計画変更にとまなうものです。
- 単年度の収支で 230 万円ほど赤字になりました。予算では 126 万の赤字を見込んでいましたが、それを上回る赤字となってしまいました。
- 助成金（toto）の交付期間が、後 2 年で終わる（クラブマネジャー助成のみ延長の可能性あり）ことから、早急に支出構造を見直すこと、会員の増加をはかり、会費収入を柱とした安定財源により各部門の黒字化を 2 年以内に達成しなければいけません。

（年度収支と過年度との比較）

年度	2010 年度		過年度				
	予算	決算	2009	2008	2007	2006	2005
収入	43,925,000	44,193,061	52,230,623	47,344,612	41,511,461	33,378,885	31,661,580
支出	45,183,920	46,498,600	51,936,213	43,520,329	38,408,490	32,950,819	28,712,254
収支	-1,258,920	-2,305,539	294,410	3,824,283	3,102,971	428,066	2,949,326
繰越	6,210,741	5,136,442	7,464,071	7,169,661	3,345,378	242,047	7,274,367

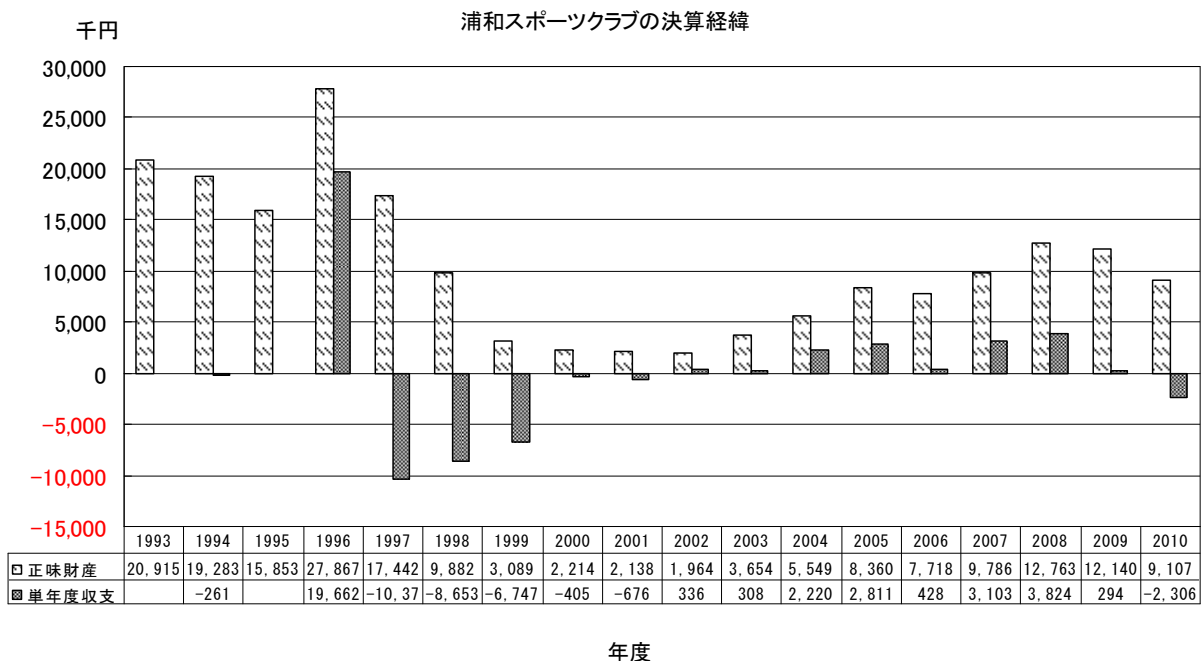


特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)
2011年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	1,202,900
現 金	59,295	未払金	2,575,504
普通預金	6,701,485	預り金	58,374
現金・預金計	6,760,780	仮受金	121,300
(売上債権)		流動負債計	3,958,078
未収会費	350,200	負債の部合計	3,958,078
未収金	1,677,500	正味財産の部	
売上債権計	2,027,700	【正味財産】	
(その他流動資産)		正味財産	9,117,824
前払費用	306,040	(うち当期正味財産増加額)	△ 3,022,408
その他流動資産計	306,040	正味財産計	9,117,824
流動資産合計	9,094,520	正味財産の部合計	9,117,824
【固定資産】			
(有形固定資産)			
構築物	2,655,502		
車両運搬具	107,721		
什器備品	481,719		
有形固定資産計	3,244,942		
(無形固定資産)			
電話加入権	76,440		
無形固定資産計	76,440		
(投資その他の資産)			
保証金	10,000		
敷金	650,000		
投資その他の資産計	660,000		
固定資産合計	3,981,382		
資産の部合計	13,075,902	負債・正味財産の部合計	13,075,902



特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)
2011年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	59,295
普通預金	6,701,485
埼玉りそな	(1,776,737)
郵貯ぱるる	(2,570,734)
郵貯振替口座	(2,299,470)
城北信用金庫1	(50,564)
城北信用金庫2	(2,989)
武蔵野銀行	(991)

現金・預金 計	6,760,780
---------	-----------

(売上債権)

未収会費	350,200
未収金	1,677,500

売上債権 計	2,027,700
--------	-----------

(その他流動資産)

前払費用	306,040
------	---------

その他流動資産 計	306,040
-----------	---------

流動資産合計

9,094,520

【固定資産】

(有形固定資産)

構築物	2,655,502
車両運搬具	107,721
什器備品	481,719

有形固定資産 計	3,244,942
----------	-----------

(無形固定資産)

電話加入権	76,440
-------	--------

無形固定資産 計	76,440
----------	--------

(投資その他の資産)

保証金	10,000
敷金	650,000

投資その他の資産 計	660,000
------------	---------

固定資産合計

3,981,382

資産の部 合計

13,075,902

《負債の部》

【流動負債】

前受金	1,202,900
未払金	2,575,504
預り金	58,374
雇用保険	(42,146)
源泉徴収	(16,228)
仮受金	121,300

流動負債 計	3,958,078
--------	-----------

負債の部 合計	3,958,078
---------	-----------

正味財産

9,117,824

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

自 2010年 4月 1日 至 2011年 3月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

事業収入	36,921,230	
助成金収入	6,400,000	
正会員会費収入	200,000	
賛助会員会費収入	150,000	
寄付金収入	70,800	
その他事業収入	459,947	
受取利息収入	1,084	
経常収入 計	44,203,061	44,203,061

【事業費】

諸謝金	21,340,833	
用具費	2,702,335	
会場費	3,290,316	
登録費	419,300	
保険料(事)	636,219	
雑費(事)	662,450	
当期事業費 計	29,051,453	
合計	29,051,453	
事業費 計		29,051,453

【管理費】

給料 手当	8,314,000	
事務人件費 (パート)	1,991,651	
法定福利費	1,098,812	
通信・運搬費	1,396,759	
水道光熱費	393,695	
会議費	38,920	
事務用消耗品費	384,545	
備品消耗品費	169,273	
印刷経費	304,707	
賃借料	1,413,000	
車両関連費	410,750	
保険料(管)	564,070	
諸会費	5,000	
慶弔費	15,750	
リース料	383,558	
支払手数料	475,641	
雑費(管)	87,016	
管理費 計	17,447,147	
経常収支差額		△ 2,295,539

[その他資金収支の部]

【その他資金収入】

その他資金収入 計		0
-----------	--	---

【その他資金支出】

徴収不能会費収入	22,400	
その他資金支出 計	22,400	22,400
当期収支差額		△ 2,317,939
前期繰越収支差額		7,464,381
次期繰越収支差額		5,146,442

《正味財産増減の部》

【正味財産増加の部】

正味財産増加の部 計		0
------------	--	---

【正味財産減少の部】

当期収支差額	2,317,939	
構築物減価償却額	401,672	
車両運搬具減価償却額	83,179	
什器備品減価償却額	219,618	
正味財産減少の部 計	3,022,408	
当期正味財産増加額		△ 3,022,408
前期繰越正味財産額		12,140,232
当期正味財産合計		9,117,824

監査報告書

平成23年6月1日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ

理事長 戸 莉 晴 彦 殿

監 事

三 戸 一 嘉

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの2010年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果の意見は次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成23年3月31日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2011年度事業計画（案）：採決事項③

3.11、私たちが経験したことのない、大変大きな地震が東北地方を中心に発生しました。被災地では多くの命が失われ、多くの宝物が失われました。報道等で伝わる被害の様子は、私たちの想像をはるかに超え、言葉を失い、涙がとまらない状況でした。

そのような中でプロ野球の開幕問題、サッカー日本代表のチャリティマッチなど、スポーツ界の動きが大きな関心を集めました。オリンピックやワールドカップをのぞき、スポーツが社会的にこれほどまでに大きくクローズアップされることは、とても珍しいことだと思います。

多くのアスリートが、被災地支援のメッセージを発し、行動を起こしました。同時に、地域のスポーツ団体も支援物資や義援金を集め、マイクロバスにのってガレキの撤去や炊き出しに乗り込みました。浦スポでも、わずかながらですが宮城の塩竈FCに届けてきました。

スポーツをとおした交流が、スポーツの枠を超え、人と人との絆づくりになっていることを、強く感じる機会ともなりました。クラブに参加していなければ知り合うこともなかったであろう他の地域の方々との交流が、このような大変な時期にこそ、発揮されていることは、スポーツに関わる人間として大きな喜びを感じます。

一方で、原発事故に伴う電力不足は、生活はもちろんのこと、クラブの活動にも大きな影響を与えています。電力不足によるナイターの使用自粛は、私たちのような地域スポーツクラブには、ともすると致命的な影響となることを強く意識させられました。2ヶ月近く活動休止を余儀なくされたプログラムもありますが、早く再開してほしい、運動をしないとストレスが溜まる・・・という意見も少なくなかったものと思います。

誤解を恐れずにあえて言うならば、「プロスポーツや学校の部活動はできるのに、地域スポーツクラブは活動できない・・・というのは、市民がスポーツをする権利を平等に与えられていない」ということではないかと思えます。「しょせん素人（しょうと）の余暇活動だから、こういう時には我慢すべきだ」という社会的評価であるとすれば、まだまだスポーツは文化として我が国では根付いていないということになるのではないのでしょうか。

おりしも、5/31にスポーツ基本法案が国会に提出されました。その前文には「スポーツは、世界共通の人類の文化」であり「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」と明記され、人類固有の権利としての「スポーツ権」が確認されようとしています。

私たちは、自分たちがスポーツを楽しく続けたい、健康に暮らし続けたい、そのためには、自分たちだけでなく、多くの仲間がスポーツを続けられる、健康に過ごしていける社会をつくっていくことが必要と考えて活動してきました。

21年目のあゆみが始めるにあたり、このことの思いをいっそう強くし、スポーツがこの地域で文化として根付き、市民権を得、そこで生まれる交流が、地域の絆を強く・太いものとしていき、国難とも言えるこの時代を救うべく互恵・互助・共助の心が育まれるような活動を展開していきたいと思えます。

（1）多目的広場の実現

スポーツクラブの良さを高めていき、クラブメンバーの交流、地域との交流を活性化するためには、拠点施設が必要なことが、国内外の事例や研究でも指摘されています。浦スポは、事務所とスタジオを賃貸で所有することができていますが、屋外スポーツやレクリエーションではこれを実現できていません。そこで、公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる広場の実現にむけて活動を展開します。

これらの広場は、クラブでも利用しますが、地域の方々にも広く利用していただく機会を設けていくことを想定しています。

（2）被災地のクラブの仲間への継続的支援

被災地の復興には、長い年月がかかると考えられています。私たちは、同じ地域スポーツクラブの仲間を支援し続けることとします。

被災の影響が大きかった地域では、まだ、スポーツ活動もままならないクラブもあると聞いています。これから活動を再開するに際して、私たちの応援が、少しでも役にたつことを願っています。

具体的には、支援金や支援物資の調達、さらには、クラブ間の交流事業などをおして、無理なく長く続けられることを実施していきます。

(3) 既存活動の充実・発展を図る

①クラブメンバーシップをはぐくむ

1) 会員による会員のためのクラブ

- クラブの会員制度をあらため、指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。
- また、家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。

2) 交流事業の実施

- 会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。
- 今年度は、ソフトボール大会等を実施します。

②サッカー

- 広場の会員増加とプログラムの充実をはかります
- U15、U18の活動形態、運営体制について検討し、安定して継続できる活動にしていきます。
- 選手は、市民リーグ2部に昇格を目指します
- 生涯クラスの仲間を増やします。特に、親子でクラブに参加する会員の増加を図ります。
- スーパーシニア広場

③テニス

- テニス会員の増加を目指します。
- 多目的広場の管理者になり優先的に使用できるテニスコートを確保します。
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。
- 駒場体育館の自主事業等参加者に活動の継続を呼びかけ、ウラスポプログラムへの参加を増やします。

④フィットネス

- 会員の増加、確保を図ります。
- シニア向け筋力トレーニングのプログラム化をはかります。
- のびのびスポーツ広場の会員増加をはかるとともに、高学年の充実も図ります。

⑤その他

- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。
- 卓球、バドミントンのクラスの新設を図ります（星空スポーツ広場からの一部定例化）
- 浦和スポーツ塾を定期開催します
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます。

(2) 地域のスポーツ振興に取り組む

①「第5回 キッズテニス大会inSAITAMA」の開催

第5回キッズテニス大会inSAITAMAの実行委員会の主管を努めます。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。

期日：2010年10月30日（日）

場所：さいたま市立浦和駒場体育館

主催：キッズテニス大会inSAITAMA実行委員会

構成団体（予定） NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレス
NPO法人あさひスポーツ・文化クラブ 他

②地域との連携強化を図り、高齢者や子供向けのプログラムの充実を図る

- 1) 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます
- 2) 地域部会を開催し、地域と連携した事業展開を図ります
- 3) 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます
- 4) 文部科学省のスポーツコミュニティ形成事業の受託を目指し、地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなれるよう努めます

○スポーツプログラム (2011.4～)

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。約500名が参加。
	スクール	小学校5年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。火曜日午後6時～北小。水曜日の浦高コースは休止中です。
	ユース	中学生 (U-15) : 個々の育成を図ることを目的とした活動。 高校生 (U-18) を再開。当面、水・土・日で活動
	選手	さいたま市浦和リーグ3部から再出発。 18歳以上の学生と社会人、約20名が参加。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。
	スーパーシニア 広場	60歳以上を対象。 木曜日サッカー広場の前の時間 (13時～15時頃) に実施。
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校中学年までを対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。4箇所で開催中。約120名が参加。
	インドアテニス	小学校高学年を対象として、キッズよりやや固めのボールで実施。本太、中尾、三室小の体育館でそれぞれ開催。約40名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイター練習。主に天沼テニスコート。
	(一般)	ジュニアテニスの送迎でこられる保護者の方々を対象に、一般向けのクラスを開催。
	初級	初級者を対象に、初歩から丁寧に教える。市内各地のコート。
	中級	中級者を対象に、市内各地のコートで開催。
フィットネス	スタジオ プログラム	別表
	のびのびスポーツ 広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高める。 ■ 年中・年長クラス ■ 小学校低学年クラス ■ 小学校高学年クラス
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	バレエ	和泉伽甫留バレエ教室との共同開催。幼稚園～小学生。
地域	星空スポーツ広場	浦和高校グラウンド及び体育館をお借りして、広く参加できる場として運営。サッカー、ミニテニス (テニス)、バトミントン、卓球。
地域貢献	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、会員、保護者、地域住民などに広く開いた講演会を実施。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品 (中古) の提供などを実施。これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。 中古テニスボールの回収と学校への寄贈
	学び・遊び	工作教室や折り紙教室など、様々なプログラムを、地域のボランティアの皆さんとともに提供していきます。
	ふらっと広場	常盤スタジオの午後の時間を地域に開放 (主に子ども達)
クラブライフ魅力アップ事業		クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントや、各プログラムに+αを提供。

2011年度スポーツプログラムと会費（予定）（定期プログラムのみ）

プログラム	対象	曜日	時間	月会費	活動場所
サッカー	月曜広場	年中・年長	15時～16時	2,000円	駒場サブグラウンド 初回チーム入りシャツ代3,000円
		小1・小2	16時～17時		
		小3・小4	17時～18時		
		小5・小6・女子	18時～19時		
	木曜広場	年中・年長	15時～16時	2,000円	年中・年長は7・8月夏季休み
		小1・小2	16時～17時		
	スクール	小5・小6	火	18時～19時	2,000円
ユース	U-15	水金土日の週4日	各2時間	5,000円	浦和高校・常盤北小他 市内グラウンド
	U-18	水土日の週3日			
選手	18歳以上	土・日(祝)	各2時間	5,000円	浦和高校・市内グラウンド 市内グラウンド
生涯	全ての年代				
スーパーシニア	60歳以上	木	13時～14時半	2,000円	駒場サブグラウンド
テニス	駒場キッズ	小1～3	17時～18時	2,500円	駒場体育館
		小3・小4	18時～19時		
	駒場キッズ	年中・年長	15時～16時	2,500円	駒場体育館
		小1・小2	16時～17時		
	北小キッズ	小1・小2	18時～19時	2,500円	北浦和小体育館
		小3・小4	19時～20時		
	三室キッズ	小1～小3	17時～18時	2,500円	三室小体育館
		// イントア	小4以上		
	中尾キッズ	小1～小3	17時～18時	2,500円	中尾小体育館
		// イントア	小4以上	18時～19時半	
	本小イントア	小3・小4	17時半～19時	3,500円	本太小体育館
		小5・小6	19時～20時半		
	硬式キッズ	小3以上	水	17時半～19時	4,000円
天沼ナイト	硬式キッズ保護者	親子6,000円			
初心者	成人男女	9時半～11時		3,000円	
中級	成人男女	月	9時～10時半	4,000円	市営コート他
		火	9時半～11時		
		金	13時半～15時		
スタジオ	各種 ヨガ	高校生以上の女性	時間割は、裏面をご確認ください。	1クラス2,000円 2クラス以上で500円引き	領家スタジオ 常盤スタジオ
	ピラティス				
	ストレッチ&バレエ				
	フィットネス・フラ				
	ボディコンディショニング				
	ホールエクササイズ				
	シニア筋トレ				
	シニアYOGA				
親子エクササイズ	親子(4歳以下)	火	10時20分～11時10分	2,500円	常盤スタジオ
動作法	成人男女	木	10時30分～12時	2,000円	領家 講座室
のびのびスポーツ広場	年中・年長	水	15時30分～16時30分	2,000円	駒場体育館
	小1～小3	金	15時～16時		
		金	16時～17時		
小3～小6	金	17時～18時			
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,500円	南菫公民館他
			16時～17時		
バレエ	幼児	金	15時半～16時20分	4,000円	領家スタジオ
	ジュニアⅠ	火・金	16時半～17時40分	4,500円	
	ジュニアⅡ	火	17時45分～19時	5,000円	

2011年のスタジオプログラム

∞ 領家スタジオ プログラム ∞						
	月	火	水	木	金	
9:10						
∫	アロマYOGA	ストレッチ&バレエ	パワーYOGA	シニア筋トレ 9:00~	プラーナ(気) ヨガ	
10:00						
10:20						
∫	アロマYOGA	スティラYOGA	フィットネス フラ	コーディネーション・ ピラティス	心と体に効く ヨガ (託児あり)	
11:10						
11:30						
∫			アロマYOGA	動作法(講座室) 10:30~12:00	ピラティス (託児あり)	
12:20						
13:30	シニアの為のボ ディコンディショ ニング					
∫			シニアYOGA			
14:20						
∞ 常盤スタジオ プログラム ∞						
	月	火	水	木	金	
9:10						
∫	ピラティス	ナチュラル・ボ ディ・ヨガ	休館日	ヨガ フィット	ピラティス	
10:00						
10:20						
∫	フィットネス ヨガ	親子 エクササイズ		ボディコンディ ショニング	ゆっくりヨガ	
11:10						
11:30						
∫				アロマYOGA	ボール エクササイズ	
12:20						
13:30						
∫	一般開放	一般開放		一般開放	一般開放	
16:30						

4. 2011年度予算（案）（2011年4月1日～2012年3月31日）：採決事項④

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 125,000		
〃 入会金収入	¥ 10,000		
賛助会員（個人）	¥ 50,000		
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 285,000	
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 16,956,000		
フィットネス事業	¥ 12,172,000		
テニス事業	¥ 5,317,000		
地域事業	¥ 160,000	¥ 34,605,000	
3 補助金等収入	¥ 6,135,000	¥ 6,135,000	
4 雑収入	¥ 50,000	¥ 50,000	
当期収入合計（A）			¥ 41,075,000
収入合計（B）			¥ 41,075,000
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 14,877,500		
フィットネス事業	¥ 10,169,440		
テニス事業	¥ 4,481,050		
ふらっと広場運営事業	¥ 1,743,600		
地域事業	¥ 892,000		
保険料	¥ 340,000		
その他事業	¥ -	¥ 32,503,590	
2 管理費			
人件費	¥ 3,479,000		
通信・役務費	¥ 1,718,000		
印刷・事務消耗品	¥ 620,000		
施設・車両費	¥ 2,323,000		
その他	¥ 422,000	¥ 8,562,000	
3 予備費			
当期支出合計（C）			¥ 41,065,590
当期収支差額（A）－（C）			¥ 9,410
次期繰越収支差額（B）－（C）			¥ 9,410

科 目	金 額		
	2011予算	2010決算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 125,000	¥ 190,000	¥ -65,000
" 入会金収入	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000
賛助会員（個人）	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ -
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 16,956,000	¥ 17,492,700	¥ -536,700
フィットネス事業	¥ 12,172,000	¥ 12,635,700	¥ -463,700
テニス事業	¥ 5,317,000	¥ 6,055,550	¥ -738,550
地域支援事業	¥ 160,000	¥ 737,280	¥ -577,280
3 補助金収入等	¥ 6,135,000	¥ 6,400,000	¥ -265,000
4 雑収入等	¥ 50,000	¥ 531,766	¥ -481,766
当期収入合計（A）	¥ 41,075,000	¥ 44,192,996	¥ -3,117,996
前期繰越残高	¥ 5,058,785	¥ 7,364,390	¥ -2,305,605
収入合計（B）	¥ 46,133,785	¥ 51,557,386	¥ -5,423,601
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 14,877,500	¥ 17,239,645	¥ -2,362,145
フィットネス事業	¥ 10,169,440	¥ 10,778,589	¥ -609,149
テニス事業	¥ 4,481,050	¥ 4,308,141	¥ 172,909
そのほか事業	¥ 2,975,600	¥ 4,033,377	¥ -1,057,777
2 管理費			
事務人件費	¥ 3,479,000	¥ 4,096,165	¥ -617,165
通信・役務費	¥ 1,718,000	¥ 1,396,759	¥ 321,241
印刷・事務消耗品	¥ 620,000	¥ 937,376	¥ -317,376
施設・車両費	¥ 2,323,000	¥ 858,525	¥ 1,464,475
その他	¥ 422,000	¥ 2,850,024	¥ -2,428,024
当期支出合計（C）	¥ 41,065,590	¥ 46,498,601	¥ -5,433,011
経常収支差額（A）－（C）	¥ 9,410	¥ -2,305,605	¥ 2,315,015
その他支出（固定資産分）	¥ -	¥ -	
次期繰越収支差額（B）－（C）	¥ 5,068,195	¥ 5,058,785	¥ 9,410

*部門ごとの 直接支出/会費 係数（共通経費を捻出するためには、現状の規模では0.7程度としたい）

サッカー 0.88

テニス 0.83

フィットネス 0.84

5. 理事の改選

	2009～2010		2011～2012 (案)
理事			
1	戸蒔 晴彦	→	戸蒔 晴彦 (再任)
2	塩野 潔	→	塩野 潔 (")
3	鈴木 公文	→	鈴木 公文 (")
4	萩原 紀男	→	萩原 紀男 (")
5	梶谷千恵子	→	梶谷千恵子 (")
6	三浦 郁哉	→	三浦 郁哉 (")
7	小野崎研郎	→	小野崎研郎 (")
8	清水 恵二	→	清水 恵二 (")
9	伊澤 浩助	→	伊澤 浩助 (")
10	生田目 基	→	生田目 基 (")
11	柴田 宗宏	→	(退任)
12	大橋 正樹	→	(")
		→	原田 明 (新任)
		→	伊藤 謙 (")
監事			
1	三戸 一嘉	→	三戸 一嘉 (再任)
2	宮原 正弘	→	(退任)
		→	柴崎 栄一 (新任)

6. その他

(1) 会員制度の改定について（定款附則の改定を伴う）

〔提案趣旨〕

浦和スポーツクラブは、目的の実現に賛同する者が集うものであり、競技者も指導者も、応援者もその立場に上下・優劣はなく平等な立場です。

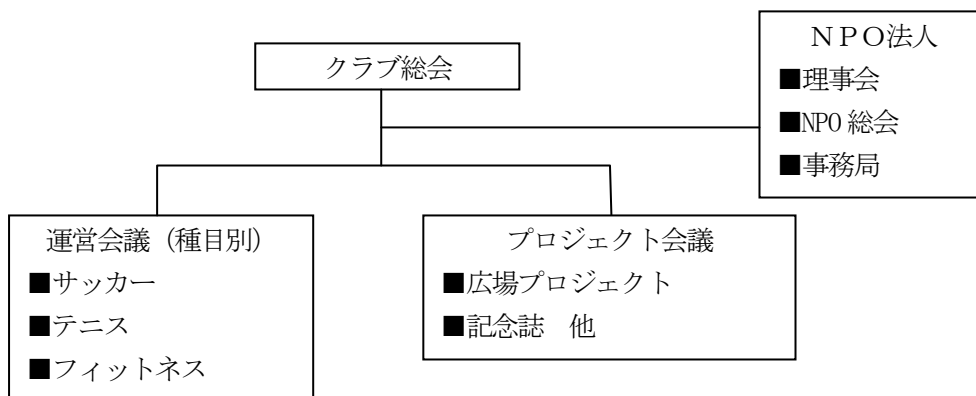
2004年度に定めた正会員制度では、NPO法に則りながら運営を円滑にするために、正会員とプログラム会員とを分けてきましたが、本来のクラブのあり方について理解が広がらないまま、プログラム会員が増加し、正会員が減少する事態を招いています。正会員減少の原因の一つとして、正会員会費は払い損という考え方があるようです。NPO活動をとおした自己実現、社会貢献は、金銭の損得で図るものではないと思われませんが、現実として正会員になるだけ損という考え方があり、プログラム会員の活動のために正会員が無償で苦勞を負っている状況は、クラブの存在意義そのものを失いかねない状況です。

また、地域スポーツクラブが目指すところのひとつに、スポーツをとおした交流によりコミュニティの活性化を図り、スポーツが地域の文化として根付いていくことがあります。会員が長い年月クラブに参加し、家族で参加する会員が増えることが望ましい姿です。

これらの課題解決をはかるために、会員制度の変更を提案します（2012年度開始）。

〔提案の内容〕

	法人加入		プログラム参加					運営			
	入会金	年会費	入会金	年会費	月会費	イベント等		NPO 総会	クラブ 総会	運営 会議	
						星空等	その他				
NPO 正会員	2,000	5,000	免除	免除	1プログラム毎 -500	無料	適宜	○	○	○	
クラブ メンバー	家族	-	-	1,000	5,000	5,000	無料	適宜	-	○	○
	個人	-	-	1,000	5,000	1プログラム毎 -500	無料	適宜	-	○	○
	青少年	-	-	1,000	2,000	±0	無料	適宜	-	-	○
	指導者	-	-	1,000	5,000	-	無料	適宜	-	○	○
ビジター	-	-	-	-	1,000円/回	500円	メンバー +500円				



(2) 「子どものスポーツ支援」プロジェクトへの参加について

〔提案趣旨〕

NPO法人クラブネットが進めるプロジェクトの主旨（別紙）に賛同し、同じ国内においてスポーツを安心して楽しむことができる環境にいるクラブとして、不幸にも活動の継続に大きな困難を伴っている地域スポーツクラブとその子どもたちを支援する。

〔提案の内容〕

定期プログラム参加者：毎月の会費に寄付分として1人100円を上乗せし、支援金とする。

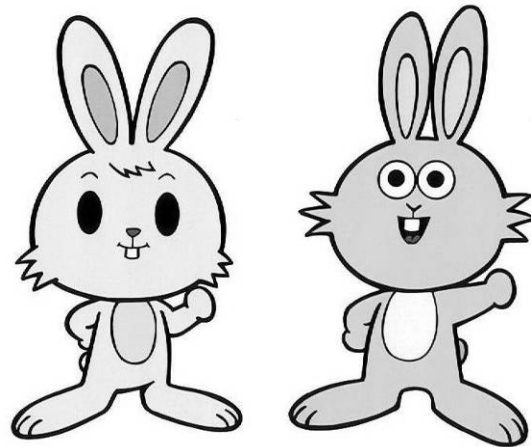
指導者：毎月の謝金から100円を支援金として寄付する

星空など不定期参加者：50円～100円の寄付をお願いする

上記については、6月末に会員各自に賛否を問い、不同意の方を除き、全員で参加する
継続意思については、毎年確認する

*仮に、1,000人の会員が参加した場合、月10万円となります。

これは、月会費が2,500円の子どものプログラム参加者40人分に相当します。



2011. 6. 12

NPO法人 浦和スポーツクラブ
(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6
電話 048-887-7140
FAX 048-679-1063
e-mail info@urawasc.org
HP-URL <http://www.urawasc.org>